

■甘粕正彦 憲兵分隊長時に大杉栄らを殺害して入獄、〈満州事変〉の裏面工作で満州国要人となり、〈敗戦〉で自決。

あまかすまさひこ

足尾鉾毒始・1891＝ 仙台市で、清和源氏の流れを汲む警察官甘粕春吉の長男に生まれる。母は仙台藩士の娘志げ

以後、5人の弟・3人の妹が誕生する間、

日清戦争始・1894＝ 3歳：

日清戦争終・1895＝ 4歳：父が警視庁に転勤となり、一家で浦和に移住。

八幡製鉄始・1897＝ 6歳：父が台湾に赴任することになり、母や兄弟と仙台に戻る。

ピアノ国産化・1900＝ 9歳：父が三重県勤務となり、

小学校だけでも5回転校という状態ながら、優秀な人材が輩出する家系で、有能な人物に育つ。

日露戦争終・1905＝14歳：津中学を卒業し、(数年前に大杉栄が放校処分された)名古屋陸軍幼年学校に入学。

アヲキ創刊・1908＝17歳：中央幼年学校に進み、

伊藤博文暗殺1909＝18歳：

韓国併合・・・1910＝19歳：陸軍士官学校(第24期)に入学。毎朝早起きして皇居を遙拝、

明治天皇没・1912＝21歳：卒業し、歩兵第51連隊付の初年兵教官となる。

将来を囑望されていたが、

21ヶ条要求・1915＝24歳：馬事訓練中に怪我をして行く手を遮られ、上官の説得で、軍隊に留まるべく憲兵への転身を図る。

怪我による関節炎治療のため、長期に渡って温泉療養し、

本格政党内閣1918＝27歳：中尉となり、朝鮮京畿道楊州の憲兵分隊長となる。

ベルサイユ条約・1919＝28歳：この年、朝鮮で独立めざす三・一事件が起こり、その処理を巡って、陸軍と警察の対立が始まる。

原敬首相暗殺1921＝30歳：大尉に昇進し、市川の憲兵分隊長となる。父が死去。

水平社結成・1922＝31歳：渋谷憲兵分隊長に栄転してまもなく、

関東大震災・1923＝32歳：婚約後、*関東大震災が起こるや、東京麹町憲兵分隊長兼務となり、混乱に乗じてアナーキスト大杉栄らの虐殺したとされ、軍法会議で懲役10年の判決を受け、千葉刑務所に収監される。東条英機・永田鉄山が中心となって甘粕母堂後援会がつくられ、右翼学生らが減刑嘆願運動、摂政官成婚の恩赦で刑期が短縮され、

日本時代始・1926＝35歳：極秘裏に仮出所し、

金融恐慌・・・1927＝36歳：唯一の著作「獄中に於ける予の感想」を出版し、結婚後、フランスに渡る。

共産党事件・1928＝37歳：長女が誕生。

世界恐慌・・・1929＝38歳：次女が誕生。長女が夭折。一時帰国後、*大川周明の手引きで、突然満州に現れ、

満州事変・・・1931＝40歳：長男が誕生。満州事変に際し裏面で関東軍に協力、溥儀の天津脱出に関する。

五一五事件・1932＝41歳：満州国民政部警務司長になり、宮内府諮議となる。

国際連盟脱退1933＝42歳：家族を大連に呼ぶ。

帝人疑獄事件1934＝43歳：妻が結核で入院したことから、見母を大連に引き取る。大東公司設立に参加し、日滿を頻繁に往復。

二二六事件・1936＝45歳：タイを訪問。

日中戦争始・1937＝46歳：協和会中央本部総務部長、

健保+総動員 1938＝47歳：訪欧使節団副団長として欧州を歴訪、ムッソリーニ、ヒトラーとも会見。

第二次大戦始1939＝48歳：総務部長を辞任し、大東協会会長。岸信介の案で、腐敗構造根絶のためと、*満州映画協会理事長に就任。

人事整理すると、撮影所の整備に取り組み、

日米開戦・・・1941＝50歳：

石原莞爾の理想が潰されて行くのを食い止めるかのように、転向左翼を受け入れるアジールとして、さまざまな人材にその後の飛躍の契機を与えるなどするうち、

敗戦・・・1945＝54歳：*敗戦になるや、満州映画協会理事長室で、青酸カリを飲み、自決した。